キャビネットおよびレールキット
Install and maintain

NetApp
April 19, 2024

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-systems/platform-supplemental/superrail-install.html on April 19, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

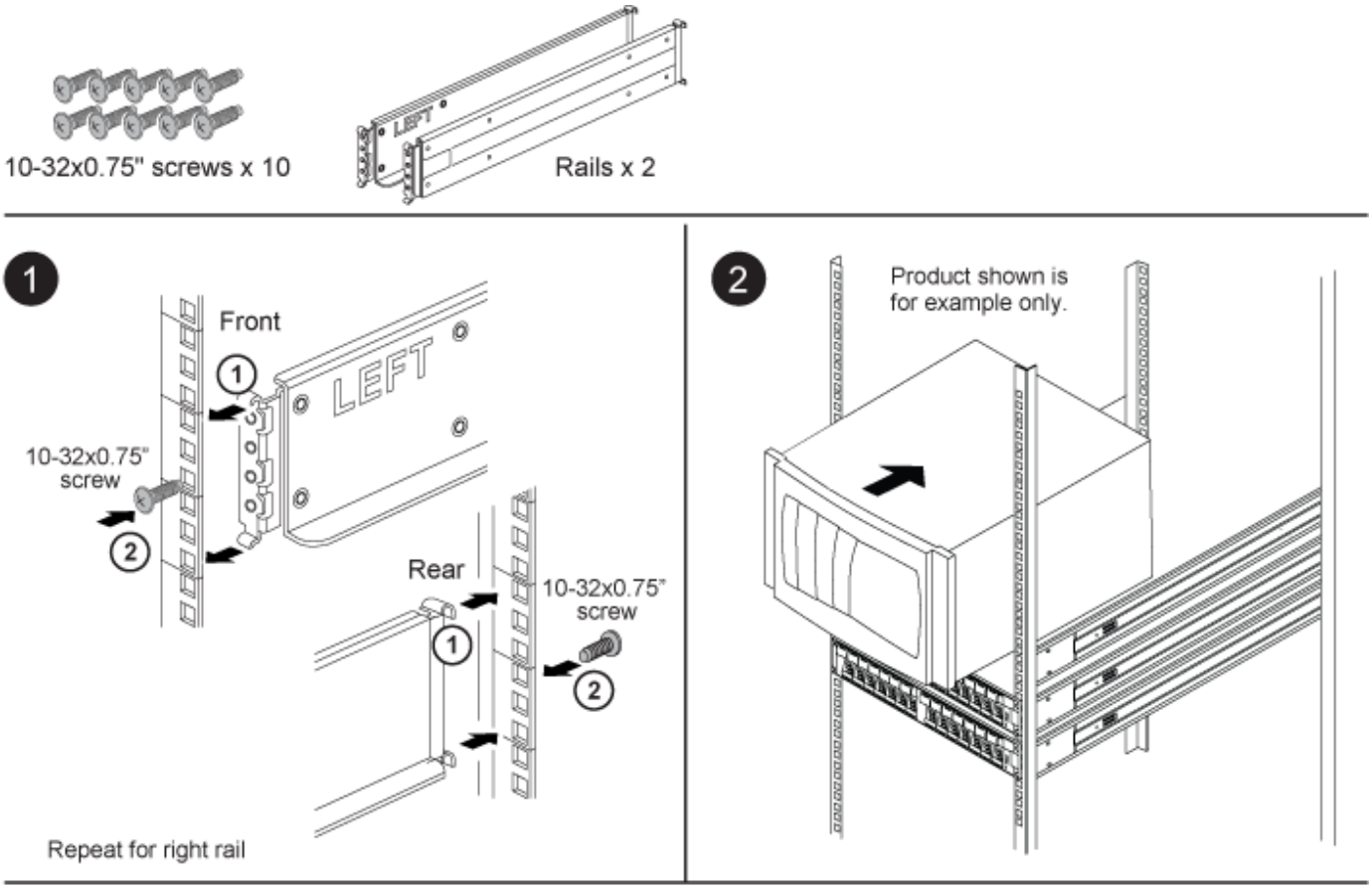
キャビネットおよびレールキット 1
SuperRail キットの取り付け手順 1
2 ポストサポートレールキットの取り付け手順 - AFF A700 および FAS9000 3
42U 1280 mm システムキャビネット 5

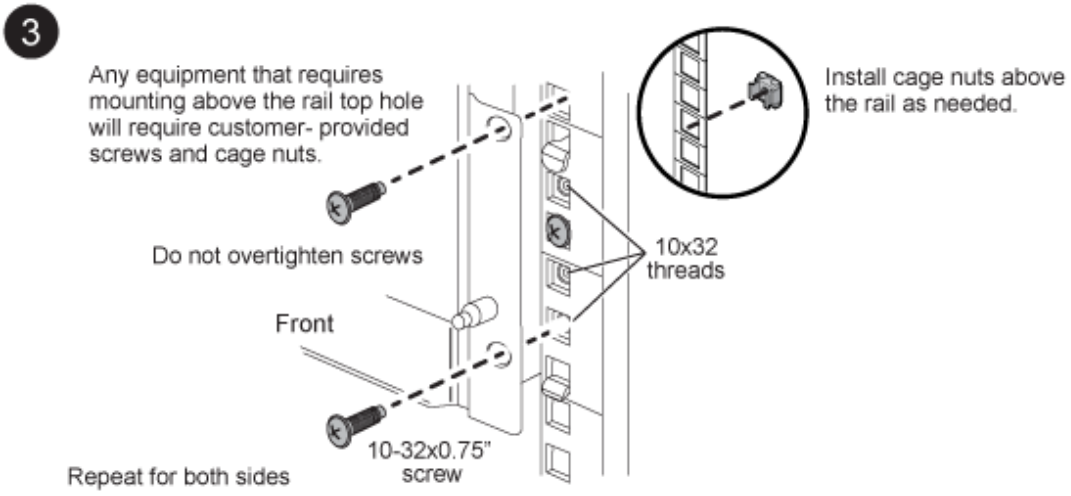
キャビネットおよびレールキット

SuperRail キットの取り付け手順

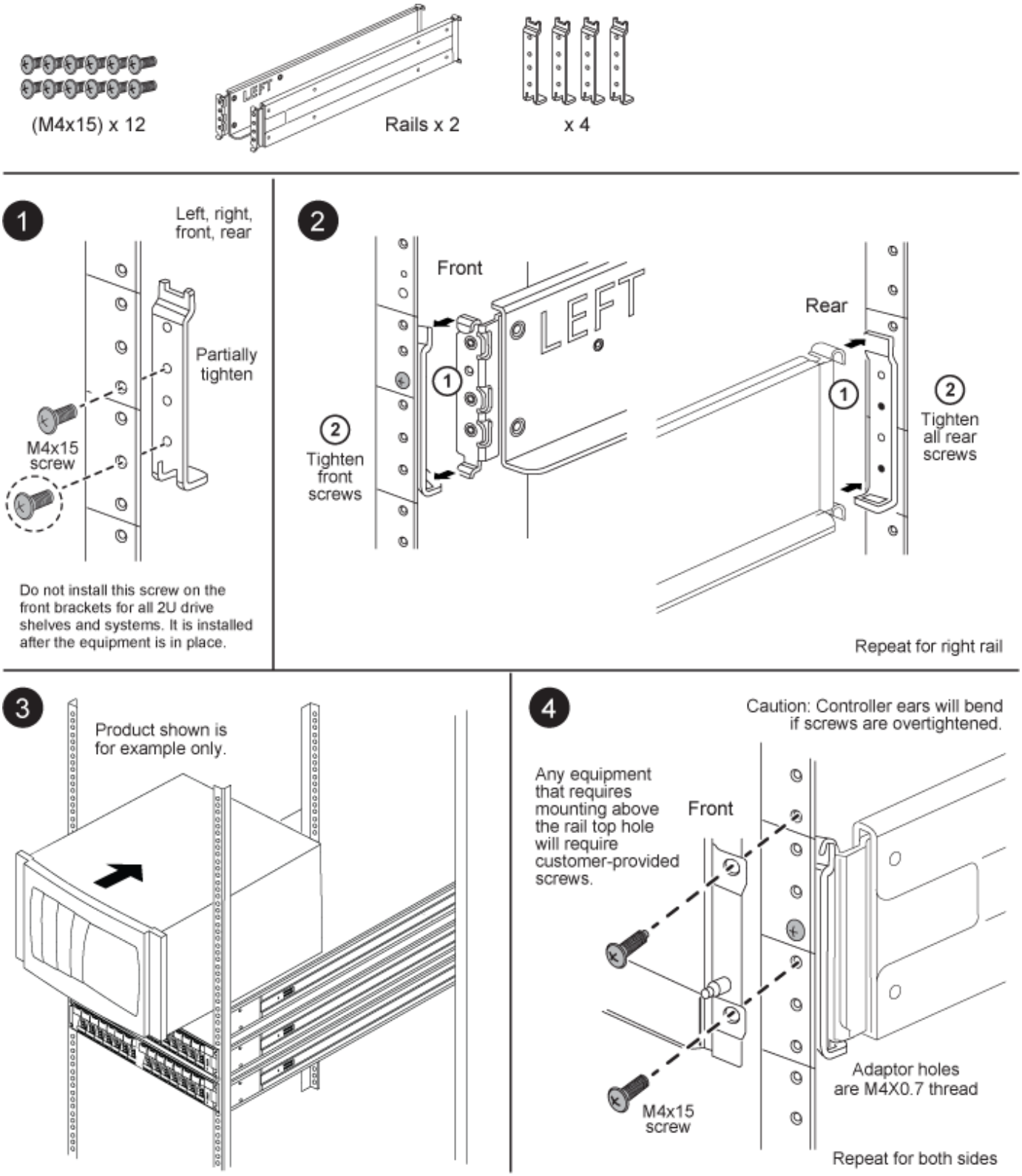
SuperRail は、標準の角穴 4 ポストラック、または丸穴から角穴のアダプタブラケットを使用して標準の丸穴 4 ポストラックに取り付けることができます。

角穴 4 ポストラックへの SuperRail の取り付け





丸穴 **4** ポストラックへの **SuperRail** の取り付け

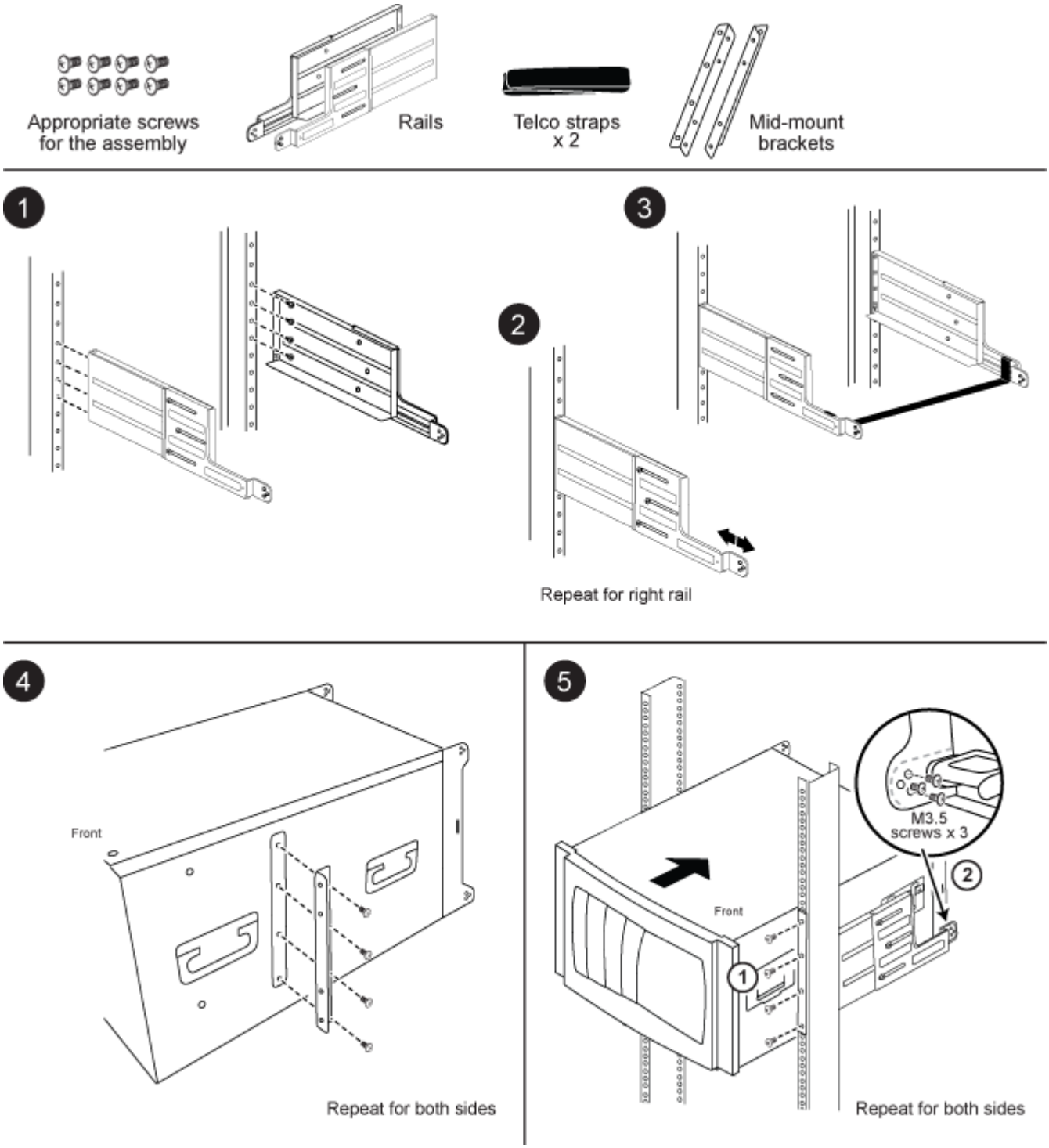


2 ポストサポートレールキットの取り付け手順 - AFF A700 および FAS9000

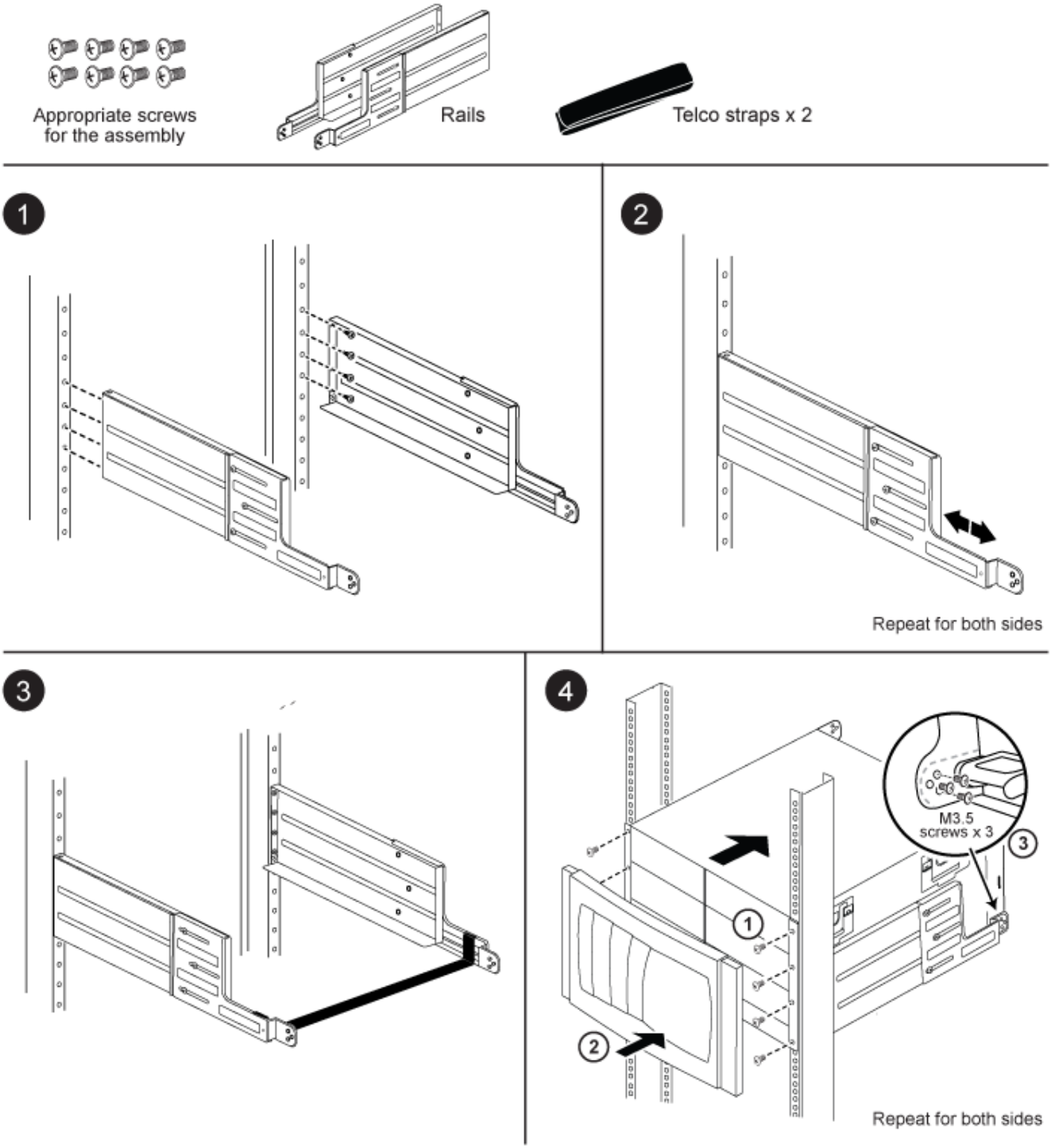
FAS9000 システムと AFF A700 システムで使用できる 2 ポストサポートレールキットがあります。1 つのキットで 2 ポストラックにシステムをフラッシュマウントできます。

もう 1 つのキットでは、 2 ポストラックにシステムをミッドマウントできます。

2 ポストミッドマウントレールキットを取り付けます



2 ポストフラッシュマウントレールキットを取り付けます



42U 1280 mm システムキャビネット

キャビネットを設置する準備をします

システムキャビネットのコンポーネント

システムキャビネットは、サイドパネル、前面ドアと背面ドア、オプションのボルトダウンキット、オプションのインターコネクトキット、機器の PDU 、および統合されたケーブル管理システムで構成されています。

フィーチャー（ **Feature** ）	説明
サイドパネル	システムキャビネットには、ロック、取り外し、および交換が可能なサイドパネルがあります。
前面ドアと背面ドア	システムキャビネットには、取り外し可能な前面ドアと背面ドアがあり、簡単に取り外せます。前面ドアは反転可能で、背面ドアは分割されています。どちらのドアにも冷却用の穴が開いています。
共通キー	このキーを使用して、前面ドア、背面ドア、サイドパネルのロックを解除します。
スペアキット	このキットは、システムキャビネットのキャビネットドアの内側に取り付けられています。次のコンポーネントで構成されます。 • 10-32 x 0.75 インチのプラスパイロットネジ × 4 • 10-32 ケージナット × 4 • ケージナット挿入工具 × 1 • マスターキーのコピー × 2
ケーブルアクセス	ケーブルを通すための開口部は、キャビネットの上部と下部、および背面ドアの下部とフレームの間に配置されています。
ケーブル管理	ケーブル管理用のフックとループストラップは、システムキャビネットのフレームに等間隔に取り付けられています。
サポートレール	サポートレールの数は、構成によって異なります。空のシステムキャビネットは、サポートレールが取り付けられていない状態で出荷されます。 • 構成済みのシステムキャビネットの場合、 80xx 、 FAS8200 、および DS4486 の後部押さえブラケットをサポートする固定レールキットがシステムキャビネットに 1 つ付属しています。 • クイック出荷のシステムキャビネットには、追加の固定レールキットは含まれていません。
ブランクパネル	ブランクパネルの数とサイズは、構成によって異なります。空のシステムキャビネットは、ブランクパネルが取り付けられていない状態で出荷されます。
ボルトダウンキット	このオプションキットを使用して、システムキャビネットをデータセンターの床に固定できます。このキットは耐震目的ではありません。 • ボルトダウンブラケット × 4 • スペーサーブラケット × 4 • M8 x 20mm 六角ボルトとワッシャ × 6

フィーチャー（ **Feature** ）	説明
インターコネクトキット	このオプションキットを使用して、複数のシステムキャビネットを相互に接続できます。 • インターコネクトブラケット ◦ システムキャビネットをのサイドパネルに接続するためのインターコネクトブラケット × 4 セット ◦ システムキャビネットをサイドパネルから取り外すための、 4 つのインターコネクトブラケットのセット • サイドパネルをオンにした状態でシステムキャビネットに使用する M12x20 Torx-30 ネジ × 4 。 • システムキャビネットでは、サイドパネルを外した状態で 6 x 10 皿 Torx -30 ネジを 8 本使用します。
サポートレールキット	システムキャビネットの注文時にサポートレールを追加した場合、各キットに左右のサポートレールが 1 本ずつ含まれます。 ⓘ サポートレールとキットは、 NetApp 42U 1280mm システムキャビネットにのみ合うように設計されています。他のシステムキャビネット用のレールやレールキットは、 42U 1280mm システムキャビネット用には設計されていないため使用しないでください。 • 左右のサポートレール • レールをシステムキャビネットフレームに固定するためのネジをレールごとに 2 本
モンキーレンチ	クレセントレンチは、梱包パレットのホールドダウンブラケットの取り外し、システムキャビネットの水平調節脚の調整、およびボルトダウンキットブラケットの取り付け（注文した場合）に使用します。

必要な工具と機器

システムキャビネットを開梱して接地を始める前に、システムキャビネットを所定の位置に移動し、設置または保守作業を行うために必要な工具と機器を用意しておく必要があります。

- ディスクシェルフのハードウェアガイドです
- 使用しているシステムに適した設置とセットアップの手順に従ってください

  "All Flash FAS のドキュメントリソース"

  "FAS ストレージシステムのドキュメント"

- No.1 および No.2 プラスドライバ

- システムキャビネットのネジ用のTORQドライバ
- システムキャビネットの水平調節用のレベリングツール

スペース要件とシステムキャビネットの寸法

システムキャビネットを開梱するときは、システムキャビネットを梱包材から取り出すための十分なスペースがあることを確認する必要があります。また、システムキャビネットの設置場所にキャビネットを移動して接地するのに十分な広さがあることを確認してください。

システムキャビネットの開梱に必要なスペース

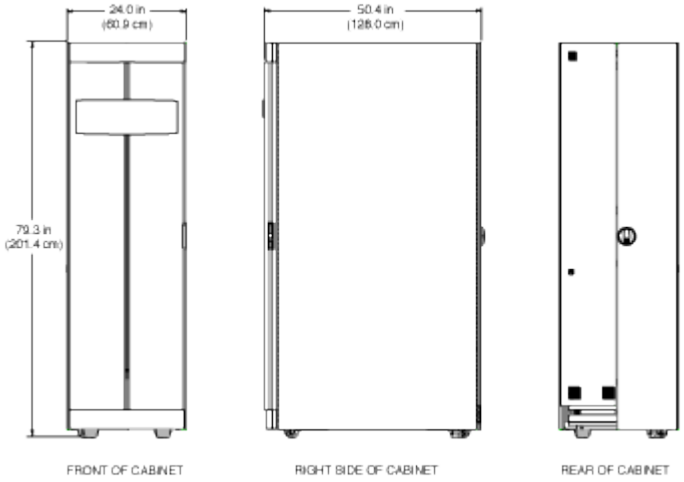
次の表に、システムキャビネットの開梱と設置に必要なスペースを示します。

寸法（ **Dimensions** ）	米国
メートル法	ローディングランプ
80 インチ	203.2 cm
キャビネットを移動するためのランプの先のクリアランス	72 インチ
182.9 cm	輸送パレットの奥行
59 インチ	149.9 cm
輸送パレットの幅	42 インチ
106.6 cm	輸送パレットと梱包材の高さ
86 インチ	218.4 cm
総ラックスペース、 42U	73.5 インチ
186.7 cm	レールの積載量
現在のすべてのシステムをサポートします	現在のすべてのシステムをサポートします
空の重量	最大 181 kg （ 400 ポンド
最大 181 kg	フル装備の出荷重量

寸法（ **Dimensions** ）	米国
最大 1 、 800 ポンド	最大 816.5 kg
フル装備の静荷重	最大 2 、 700 ポンド
最大 1 、 224.7kg	前面のクリアランス
47.2 インチ	120 cm
リアサービスクリアランス * 注： * リアドアは分割されています。実際の背面の最小クリアランスは、推奨値の約 1/2 です。	30 インチ
76.3 cm	パネルを取り外す際の側面の最小クリアランス
24 インチ	61 cm
上部の最小クリアランス	12 インチ

システムキャビネットの外寸

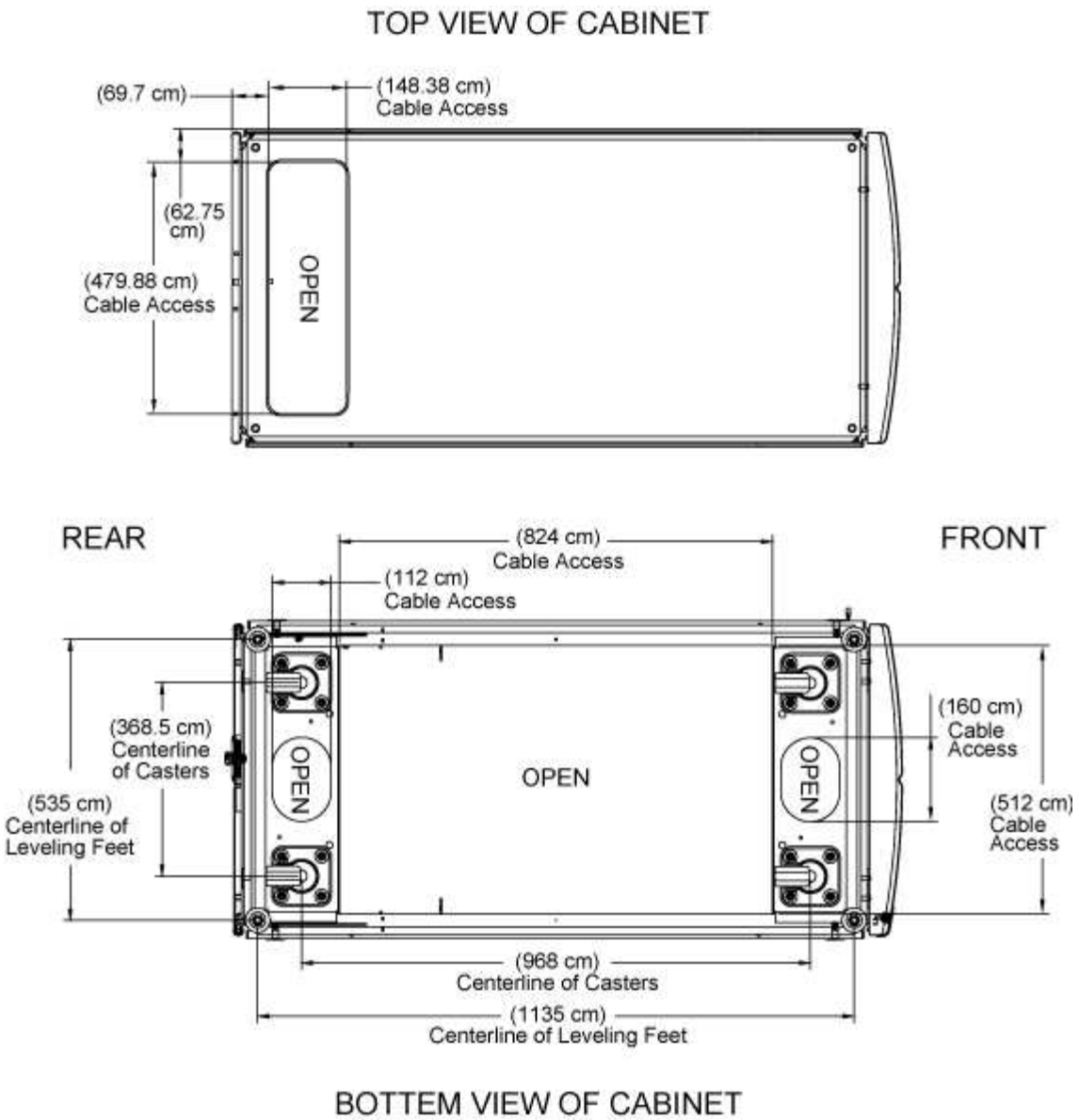
次の図は、システムキャビネットの前面、背面、および側面を示しています。



次の図は、システムキャビネットを上と下から見たところです。ケーブルの束をデータセンターの床からシステムキャビネットに通すための開口部も示しています。また、システムキャビネットのキャスターと水平調節脚の位置も示しています。

注意

システムキャビネットによってデータセンターの床が抜けないように、システムキャビネットの底にあるケーブル用開口部よりも広いフロア開口部の上にシステムキャビネットを移動しないでください。



サポートされている **PDU** の種類と仕様

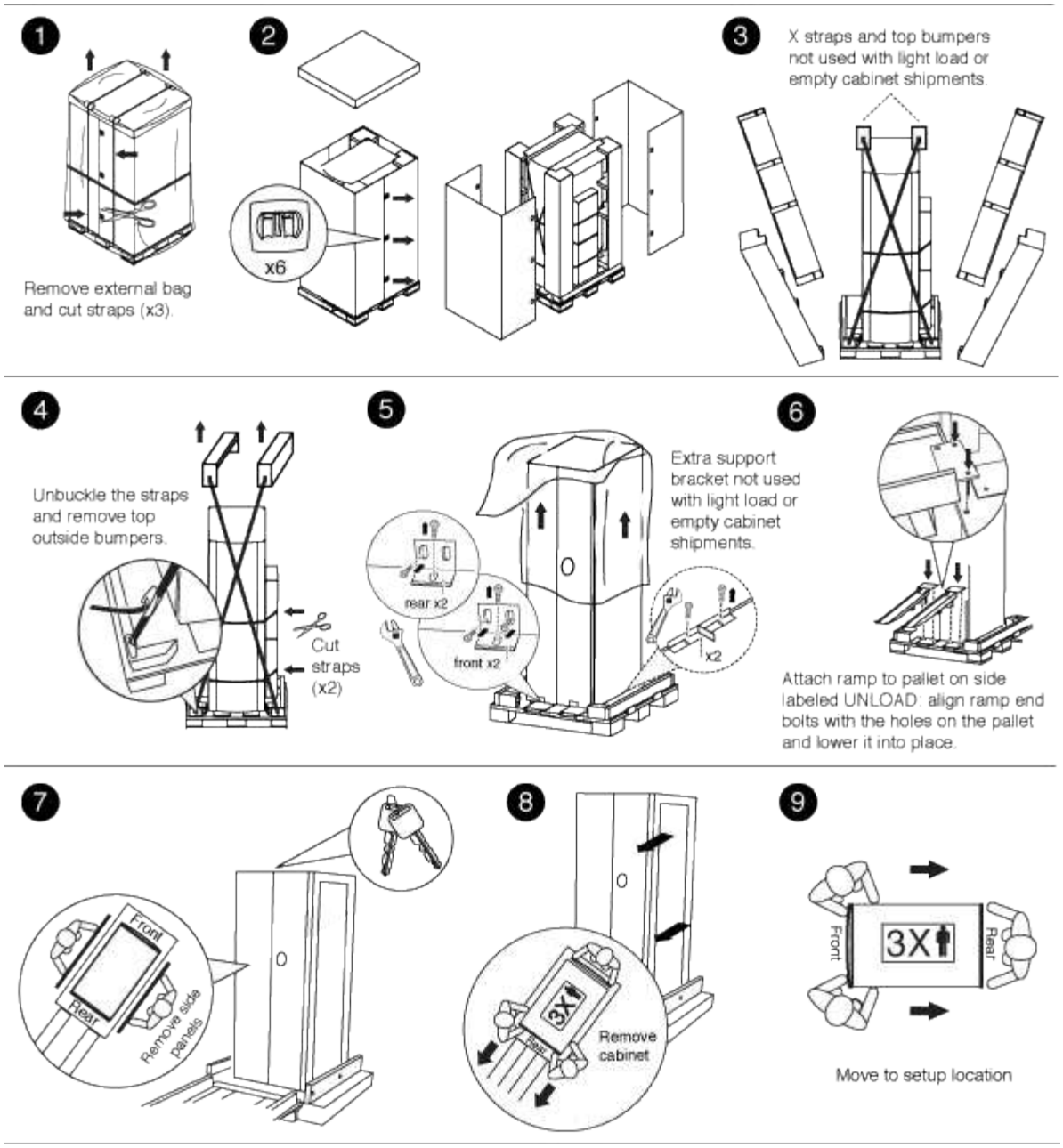
システムキャビネットは、さまざまな種類の Power Distribution Unit （ PDU ；配電ユニット）をサポートしています。PDU は NEMA または IEC に準拠しています。

システムキャビネットでサポートされる PDU の最新情報は、 Hardware Universe に記載されています。

"hwu.netapp.com"

システムキャビネットを開梱します

システムキャビネットを所定の位置に移動する前に、システムキャビネットを包む梱包材を取り除く必要があります。また、キャビネットを開梱したあとの梱包材はリサイクルする必要があります。



キャビネットを設置

システムキャビネットを設置

システムキャビネットを発注する際には、ネットアップストレージコントローラとディスクシェルフが設置された状態で注文することも、既存のネットアップ機器がある場合は空のシステムキャビネットを発注することもできます。オプションのインターコネクトキットを使用して複数のシステムキャビネットを接続でき、オプションのボルトダウンキットを使用してデータセンターの床に固定できます。

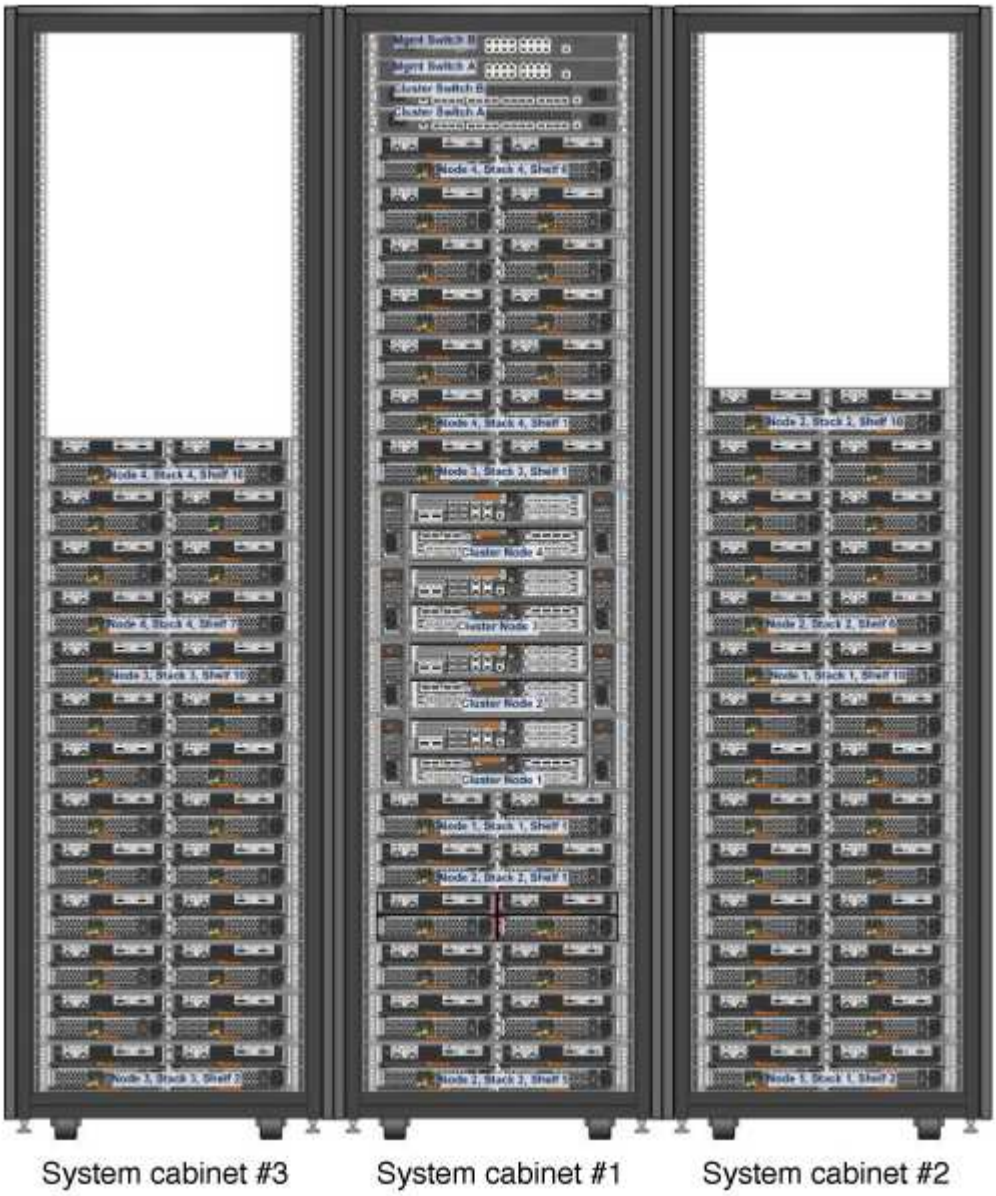
キャビネットインターコネクトキットを取り付けます

オプションのキャビネットインターコネクトキットを使用して、システムキャビネット

どうしを接続できます。キャビネットどうしが離れてケーブルが破損しないように、キットを取り付けることを推奨します。

1. システムキャビネットを近付けて配置します。

   次の図のように、コントローラモジュールを搭載したキャビネットを真ん中に、ディスクシェルフを追加したキャビネットをその両側に配置する必要があります。キャビネットの側面どうしが触れ合わない程度の近さに配置します。



2. 推奨事項に従ってサイドパネルをオンにしたインターコネクトキットを取り付ける場合は、開梱時に取り外したサイドパネルを再度取り付けます。

   a. システムキャビネットの底部から約 15 度離してサイドパネルを持ち上げ、システムキャビネットフレーム上部の縁に掛けます。

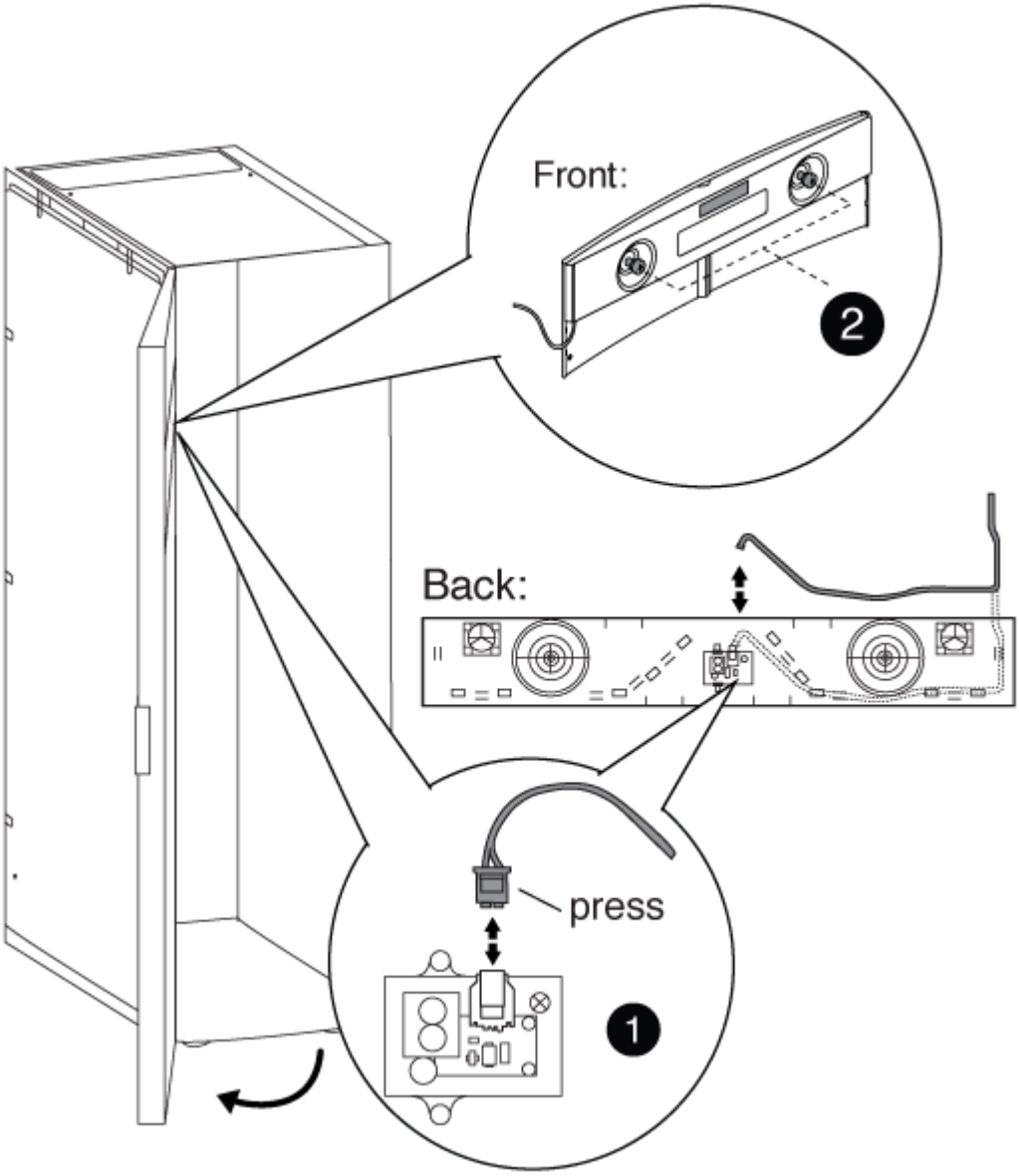
   b. サイドパネルをキャビネットフレームに慎重に押し込み、キーを使用して所定の位置にロックします。

   c. 残りのサイドパネルについても、上記の手順を繰り返します。

3. サイドパネルを取り外した状態でインターコネクトキットを取り付ける場合は、前面ドアを取り外します。ドアのヒンジは、キャビネットどうしが接する部分にあります。

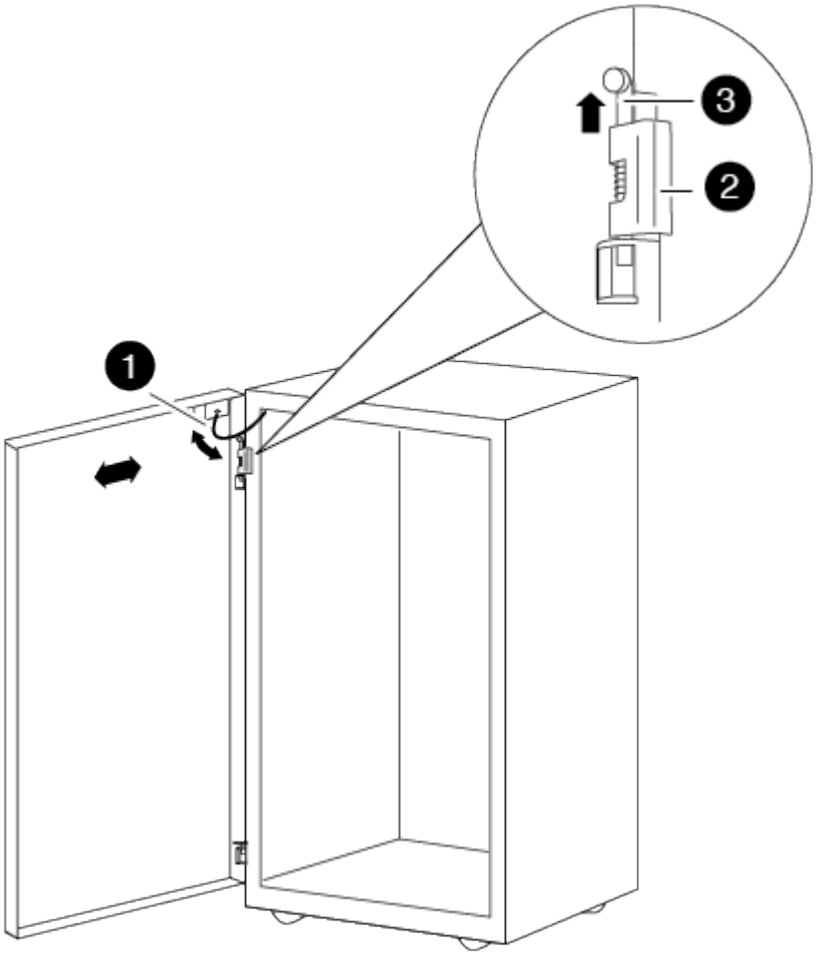
   a. 前面ドアのロックを解除して開きます。

   b. 次の図を参照して、照光ベゼルの電源を取り外します。



1	
照光ベゼルの回路基板とケーブル	
2	
背面パネルと取り付けネジ	

c. 次の図を参考にして、フロントドアを取り外します。



1	
ドアの接地ケーブル	
2	
ドア上部のヒンジ	
3	
ヒンジピン	

+ 取り外したドアが誤って破損しないように、安全な場所に保管してください。

4. 背面ドアを取り外します。ドアのヒンジは、キャビネットどうしが接する部分にあります。
   a. 背面ドアのロックを解除して開きます。
   b. 上部のヒンジピンを持ち上げて、ヒンジの底部から外します。

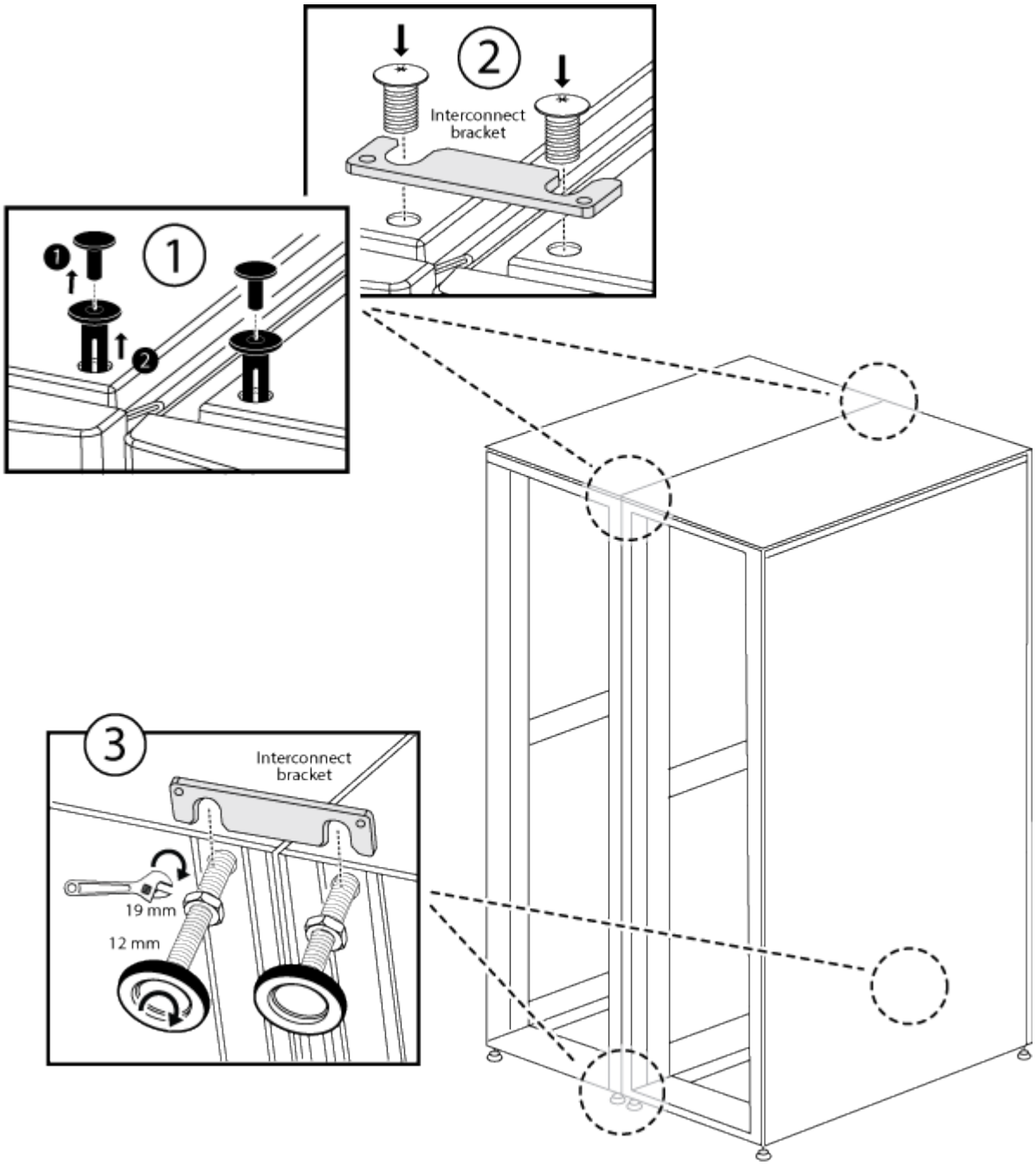
c. ドアの上部をシステムキャビネットフレームから慎重に傾けて離し、ヒンジピンを外します。

d. ドアを持ち上げて下部のヒンジから外し、脇に置きます。

5. システムキャビネットをすべて一緒に移動し、システムキャビネットの底部にある 4 つの水平調節脚を調整して同じ高さに合わせます。

6. インターコネクトブラケットを取り付けます。

   - 推奨事項に従って、システムキャビネットのサイドパネルにインターコネクトブラケットを取り付ける場合は、次の図を参照してくださ



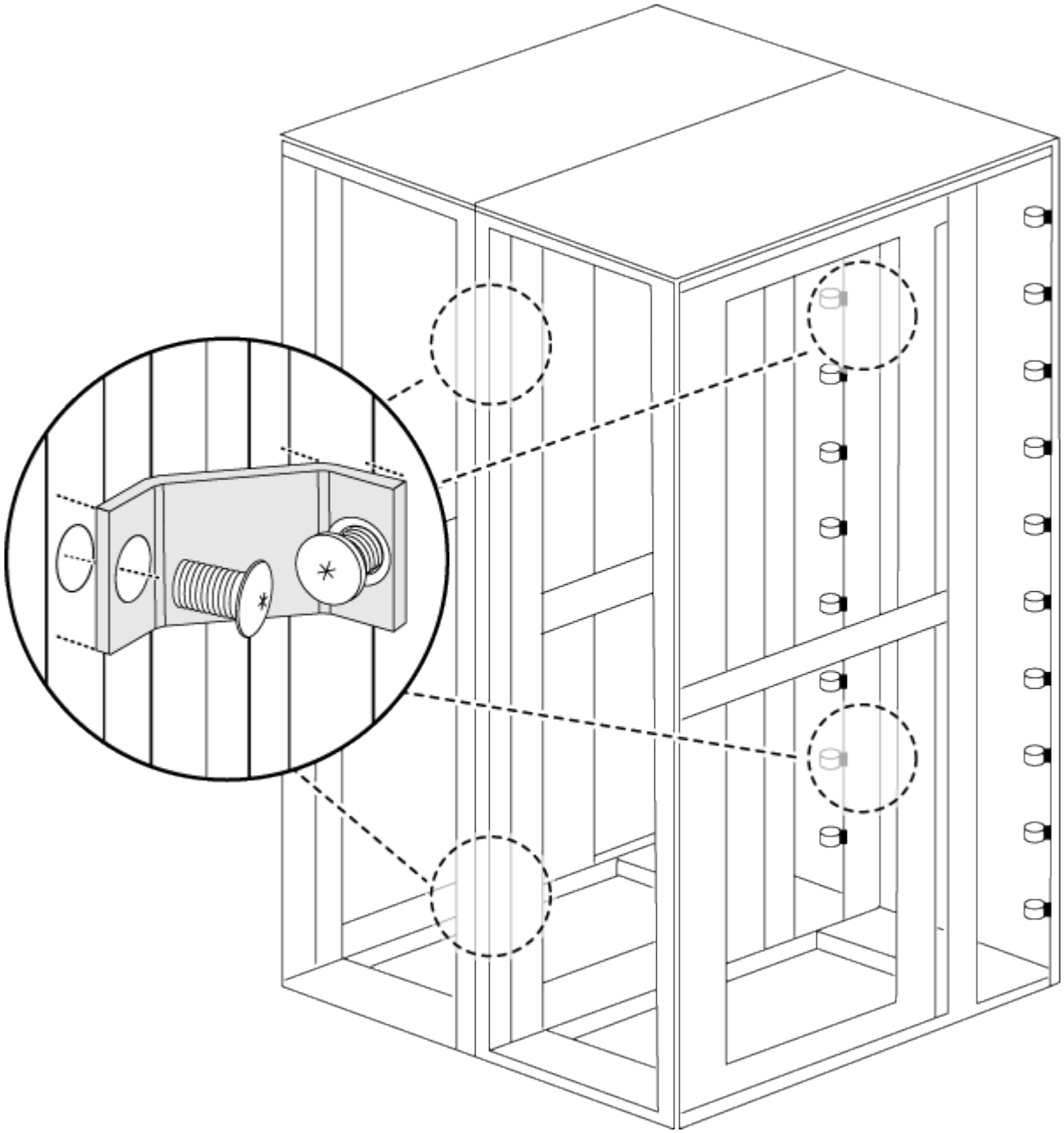
い。

❶
システムキャビネット上部のプラスチック製プッシュリベット

❷
上部インターコネクトブラケット
❸
下部インターコネクトブラケット

+

- システムキャビネットのサイドパネルを外した状態でインターコネクトブラケットを取り付ける場合は、次の図を参考にしてくださ



い。

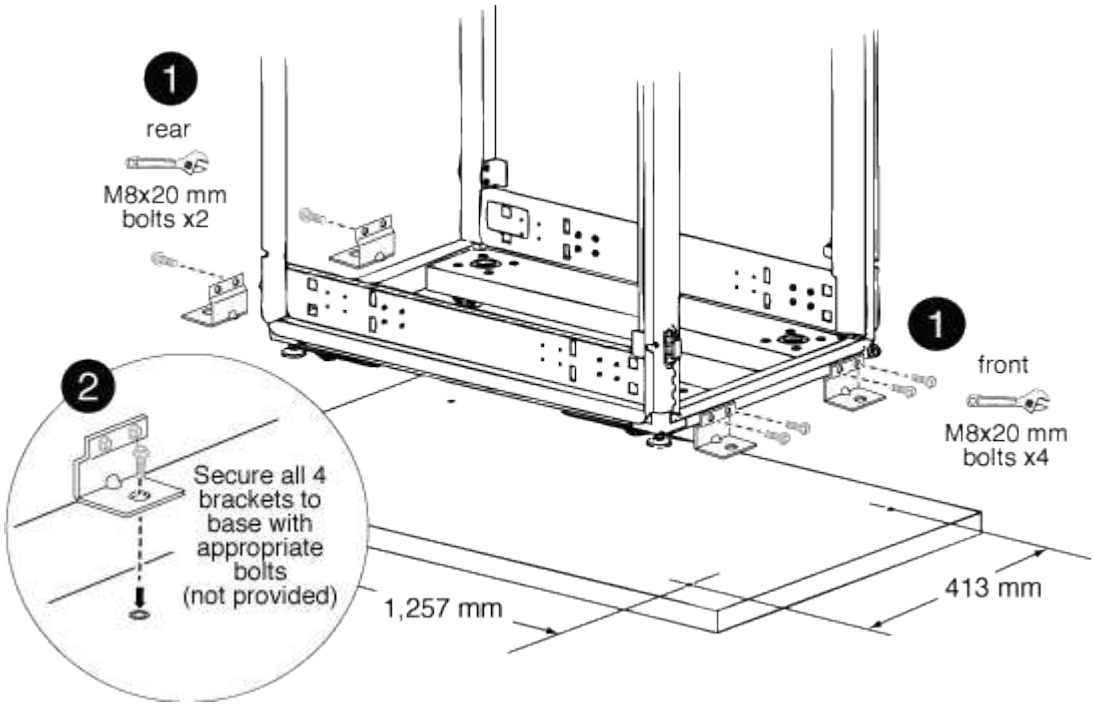
7. 残りのシステムキャビネットについても同じ手順を繰り返します。
8. インターコネクトブラケットのネジをすべて締めます。

ボルトダウンキットを取り付ける

オプションのボルトダウンキットを取り付けると、システムキャビネットを床に固定できます。キットを取り付けると、システムキャビネットが所定の位置から移動しないようになります。

ボルトダウンブラケットごとに、床に適したアンカーボルトを用意する必要があります。

1. システムキャビネットを設置する床の場所をマークし、キャビネットをその位置に移動します。



1	
前面および背面のボルトダウンブラケット	
2	
ブラケット上の床のアンカーポイントの位置	

2. 背面のボルトダウンブラケットを床に固定するアンカーポイントをマークし、ブラケット用の穴を開けます。

   床に適したサイズとタイプのボルトを使用してください。

3. ボルトダウンブラケットが低すぎてシステムキャビネットフレームのマウントポイントの位置と合わない

場合は、床の穴の上にスペーサーブラケットを取り付けます。

4. 背面ブラケットを床にボルトで緩く固定し、キットのボルトを使用してブラケットをキャビネットフレームに固定します。
5. 前面のボルトダウンブラケットを床に固定するアンカーポイントをマークし、ブラケット用の穴を開けます。
6. ボルトダウンブラケットが低すぎてシステムキャビネットフレームのマウントポイントの位置と合わない場合は、床の穴の上にスペーサーブラケットを取り付けます。
7. 前面ブラケットを床にボルトで固定し、キットのボルトを使用してブラケットをキャビネットフレームに固定します。
8. 必要に応じて水平調節脚を下げ、背面のボルトダウンブラケットを床に固定します。

追加のサポートレールを取り付けます

システムキャビネットには、あらかじめいくつかのサポートレールが取り付けられています。システムにサポートレールを追加する必要がある場合は、システムコンポーネントを取り付ける前にレールを取り付ける必要があります。

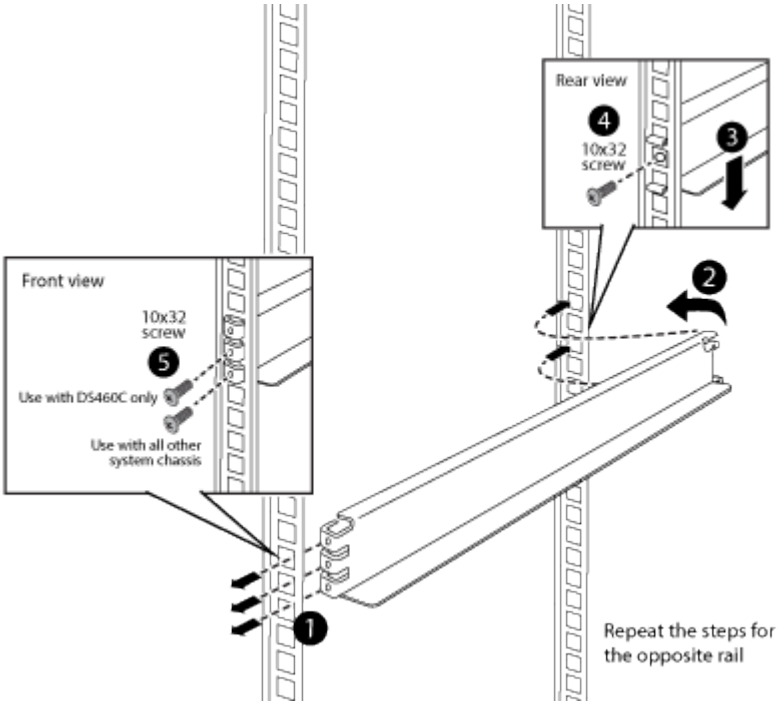
このタスクでは、 DS212C および DE212C ディスクシェルフを除くすべてのコントローラおよびディスクシェルフを環境で接続します。これら 2 つのディスクシェルフについては、該当するレールキットの説明書を使用してください。

"DE212C または DS212C シェルフを 2 支柱ラックまたは 4 支柱ラックに取り付ける"

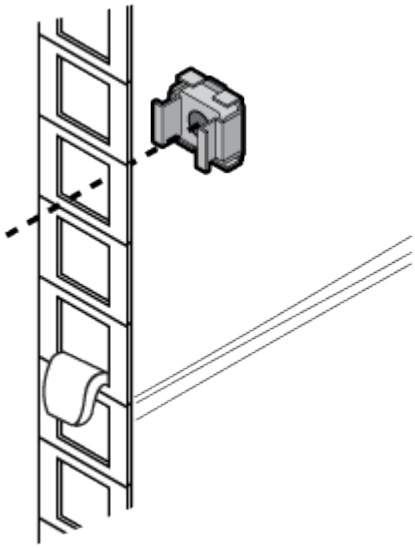
1. 機器に必要なスペースを決定します。

   機器の高さから機器に必要な U スペース（ 1U = 4.45cm ）を計算し、システムキャビネット内の使用可能なスペースに基づいて機器を取り付ける場所を決定します。

2. サポートレールを取り付ける場所を確認し、次の図を参考にして取り付けます。



3. 機器のマウントフランジがサポートレールのネジ穴よりも上に来る場合は、必要に応じて、サポートレールの上にケージナットを取り付けます。



システムキャビネットに機器を設置

サポートレールを追加でシステムキャビネットに取り付けたら、他のシステムコンポーネントがすでに取り付けられているシステムキャビネットにコンポーネントを追加したり、既存のシステムコンポーネントを空のシステムキャビネットに追加したりできます。

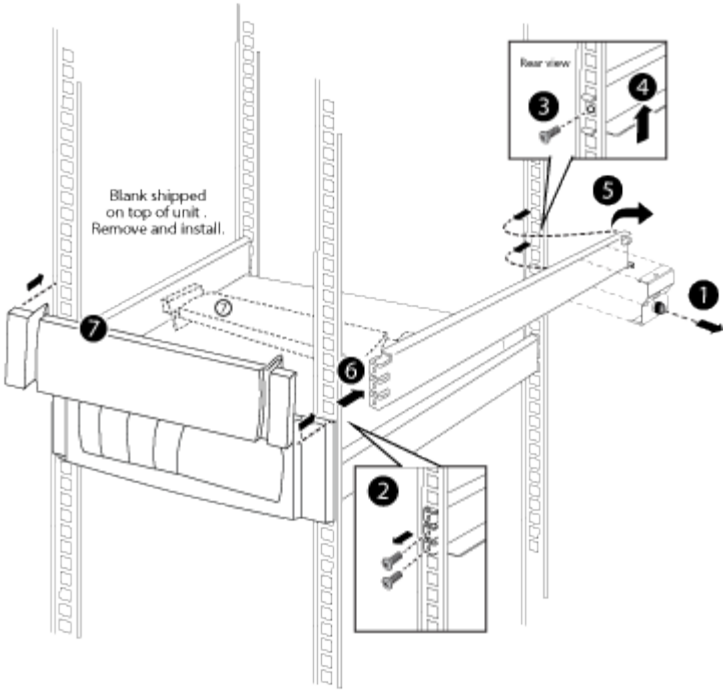
1. システムキャビネットの背面ドアと前面ドアが開いていない場合は、ロックを解除して開きます。
2. 機器の設置手順に従って、機器をシステムキャビネットに設置します。

   ストレージコントローラは、システムキャビネットの中央に配置する必要があります。ディスクシェルフは、ストレージコントローラの上および下に配置する必要があります。すべてのスイッチは、システムキャビネットの最上部に配置する必要があります。

   > 機器のマウントフランジがサポートレールのネジ穴よりも上に来る場合は、必要に応じて、サポートレールの上にケージナットを取り付け、キャビネットに機器を固定します。

3. システムキャビネットの空のベイにブランクパネルを取り付けます。

   機器が取り付けられた状態でシステムキャビネットを受け取った場合は、次の図に示すように、空のキャビネットベイのすぐ下にある機器の上にある固定レールを取り外す必要があります。



4. 前面と背面のシステムキャビネットドアを再度取り付けます。

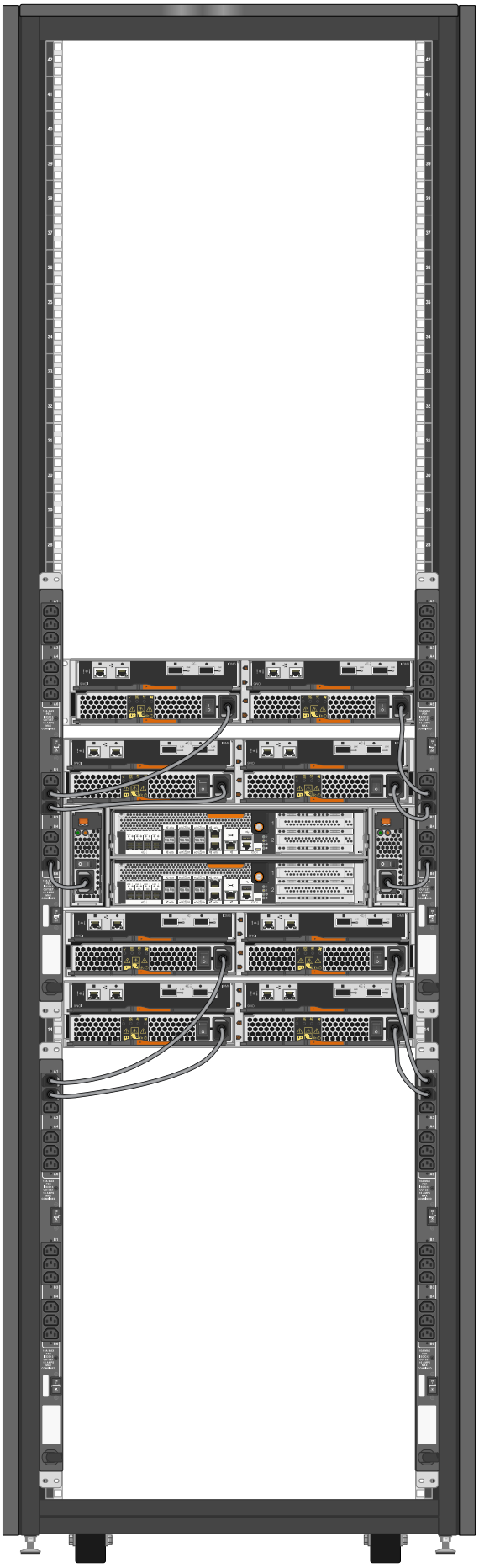
システムキャビネットの電源をオンにします

システムコンポーネントを PDU に接続し、 PDU ケーブルを AC 電源に接続し、 AC 電源を電源に接続し、システムの電源をオンにする必要があります。

> PDUに障害が発生した場合にシステムが停止するのを防ぐために、コンポーネントの両方の電源ケーブルを1つのPDUに接続しないでください。図に示すように、異なる回路に接続されているPDSに負荷を分散します。

システムキャビネット内の PDU ごとに別々の電源回路を使用できる必要があります。

1. 機器をPDUに接続します。
   a. コントローラの電源装置を、異なる電源に接続されている別 々 のPDUに接続します。
   b. ドライブシェルフの電源装置を、異なる電源に接続されている別 々 のPDUに接続します。
   c. スイッチの電源装置を、異なる電源に接続された別 々 のPDUに接続します。



PDUの電源ケーブルをシステムキャビネットの次のいずれかの開口部に通します。

- システムキャビネットの上部
- システムキャビネットの背面ドア底部とフレームの間
- フロアの開口部を通ってシステムキャビネットの下

2. PDU の電源スイッチまたは回路ブレーカーをオフにします。
3. 各 PDU 電源ケーブルを、別々の AC 回路にある個別の AC 電源に接続します。
4. PDU の電源スイッチまたは回路ブレーカーをオンにします。
5. コンポーネントの電源を入れ、システムをブートします。
6. システムキャビネットのドアを閉じてロックします。

PDU を交換します

システムキャビネット内の故障した PDU を交換したり、既存の PDU を別のタイプの PDU と交換したりできます。

交換用 PDU がシステムキャビネットでサポートされ、設置されている機器に十分な電力を供給する必要があります。

"hwu.netapp.com"

1. 障害のあるPDUの回路ブレーカーをオフにし、障害のあるPDUをAC電源から取り外します。
2. システムキャビネットのアース接続を行い、各システムコンポーネントと障害のあるPDUから電源コードを抜きます。
3. PDU フレームの下部のネジを最初に外します。

> PDU の上部から最後のネジを外す際には、片手で PDU を支えてください。これにより、ネジを外したあとに PDU が落下したり、自分の方に倒れたりするのを防ぐことができます。

4. 障害のあるPDUをシステムキャビネットから取り外します。

   交換用 PDU の取り付け時に再利用できるように、必ず取り付けネジを残しておきます。

5. 障害のあるPDUからブラケットを取り外し、交換用PDUの背面に取り付けます。
6. 交換用PDUを支えながら、PDUの取り付けブラケットのスロットをシステムキャビネット内部のフレームの上部の穴に合わせ、障害のあるPDUの取り付けネジを使用してPDUをシステムキャビネットフレームに固定します。
7. PDU の底部をシステムキャビネットフレームに固定し、すべての取り付けネジを締めます。
8. すべての電源スイッチまたは回路ブレーカーがオフになっていることを確認します。

   回路ブレーカーがオフになっていない場合は、小型のドライバまたはまっすぐに伸ばしたペーパークリップをオフラベルの右側のスロットに差し込み、回路ブレーカーを切って回路をオフにします。

9. ストレージシステム、スイッチ、およびドライブシェルフから取り外した電源コードを交換用PDUに接続

します。各コンポーネントはコンポーネントの真向かいにあるPDUコンセントに差し込みます。

> PDU の分岐全体に負荷を分散し、各分岐の負荷を可能なかぎり均等にすることを推奨します。

10. 各コンポーネントの電源ケーブルプラグを、プラグの上にあるケーブル固定クリップを使用して所定の位置に固定します。このとき、ケーブル固定クリップのカーブした方をプラグの肩部にスライドさせます。
11. PDU の電源コードを AC 電源に接続します。
12. PDU の電源スイッチまたは回路ブレーカーをオンにします。

    PDU 回路ブレーカーは、ボタンが PDU フレームと同一平面上にある場合はオンです。

キャビネット前面ドアを反転します

システムキャビネットの前面ドアを反転します

前面ドアの開き方を変更するには、照光バッジ、ドア、上部のヒンジ、および関連するハードウェアを取り外し、システムキャビネットフレームの前面の反対側に取り付けます。

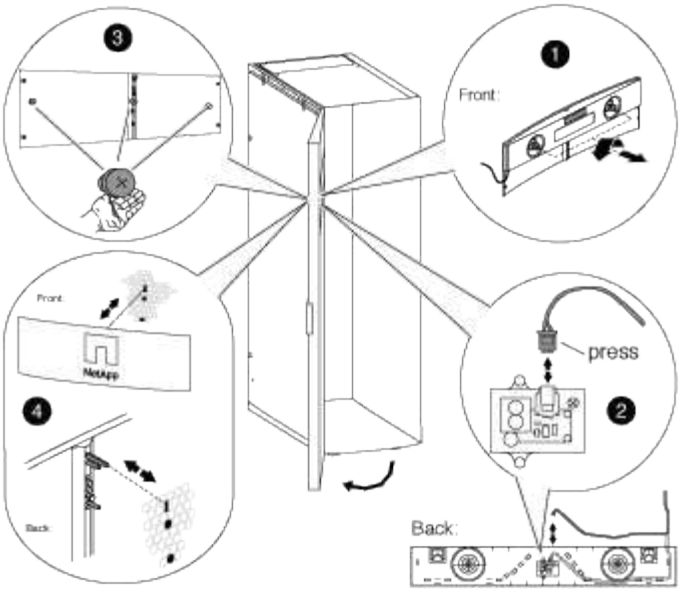
照光バッジ付きシステムキャビネットのドアを反転させるには、次の工具と機器が必要です。

- プラスドライバ
- 5 mm のアレンレンチを使用することをお勧めします。マグネット式のアレンレンチを使用してください
- ラジオペンチ
- 上部ヒンジの六角ボルトに簡単にアクセスできるように、ステップラダー

照光バッジを取り外します

照光バッジを取り外すには、システムキャビネットの前面ドアを開き、バッジの背面から電源コードを抜き、システムキャビネットのドアからバッジコンポーネントを取り外す必要があります。

次の図と手順を参照してください。



1. システムキャビネットの前面ドアのロックを解除して開きます。
2. ドアの内側にあるバッジ背面パネルの非脱落型ネジを緩め、背面パネルをドアメッシュから慎重に引き出します。
3. プラグの固定クリップを押してソケットからコードを抜き、背面パネルから電源コードを抜いて、背面パネルから電源コードを取り外します。

   背面パネルを脇に置きます。

4. バッジの背面からネジを慎重に取り外します。

   取り付けネジのステムは非常に短くなっています。取り付けネジを落とした場合に受け止められるように、ネジの下に空いている手を置きます。

5. ドアの前面からバッジを取り外し、脇に置きます。

システムキャビネットのドアを取り外します

システムキャビネットのドアとサイドパネルを取り外して、照光バッジとコンポーネントを移動し、ドアを反転させる必要があります。

1. システムキャビネットのドアが開いていない場合は開きます。
2. キャビネットがインターコネクトキットに接続されているかどうかに応じて、該当する操作を実行します。

システムキャビネットの状態	作業
別のシステムキャビネットに接続されていません	次の手順に進みます。

システムキャビネットの状態	作業
インターコネクトキットで別のシステムキャビネットに接続されている	インターコネクトキットブラケットを 4 つすべて取り外し、ブラケットとネジを安全な場所に置きます。

3. 両方のサイドパネルのロックを解除し、接地線をサイドパネルから外して脇に置きます。
4. 接地線をドア上部の接地スペードから外します。
5. 接地端子と接地線アセンブリのネジを外してシステムキャビネットフレームから取り外し、脇に置きます。
6. 接地端子アセンブリのネジを外してシステムキャビネットドアから取り外し、脇に置きます。
7. 上部のヒンジピンを持ち上げて、ヒンジの底部から外します。
8. ドアの上部をシステムキャビネットフレームから慎重に傾けて離し、ヒンジピンを外します。
9. ドアを持ち上げて下部のヒンジから外し、脇に置きます。

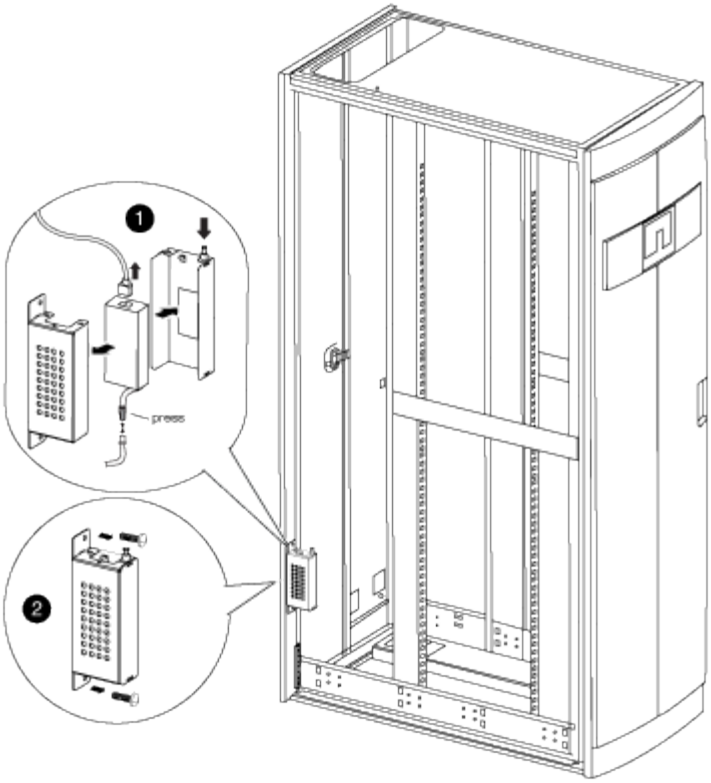
バッジの電源装置とケーブルを移動します

ドアを反転して照光バッジを再度取り付ける前に、電源装置と照光バッジのケーブルをシステムキャビネットフレームの反対側に移動する必要があります。

システムキャビネットのドアとサイドパネルを取り外しておく必要があります。

システムキャビネットのドアを反転させる際には、照光バッジの電源装置、電源ケーブル、およびケーブルコンジットをシステムキャビネットの反対側に移動する必要があります。このアセンブリは、バッジへのケーブルがキャビネットのドアのヒンジ側に来るように設計されています。

1. 電源ケーブルの固定クリップを開き、電源装置から電源ケーブルを外します。
2. 図を参照しながら、電源装置のケースと電源装置を取り外します。



a. 電源装置ケースの固定ピンを持ち上げ、ケースカバーを下に回転させて背面の電源装置ケースから外します。

> 電源装置は、フックとループパッチを使用して電源装置ケースに取り付けられています。

b. 照光バッジのケーブルから電源装置を外し、電源装置と電源装置カバーを横に置きます。

c. システムキャビネットフレームに取り付けられている電源装置ケースの上部と下部からネジを外し、電源装置ケースを取り外します。

3. 電源装置と電源装置ケースをシステムキャビネットの反対側に取り付けます。

a. キャビネットフレームにある 2 つの隣り合ったネジ穴の位置を確認し、電源装置ケースの上部を下のネジ穴に取り付けます。

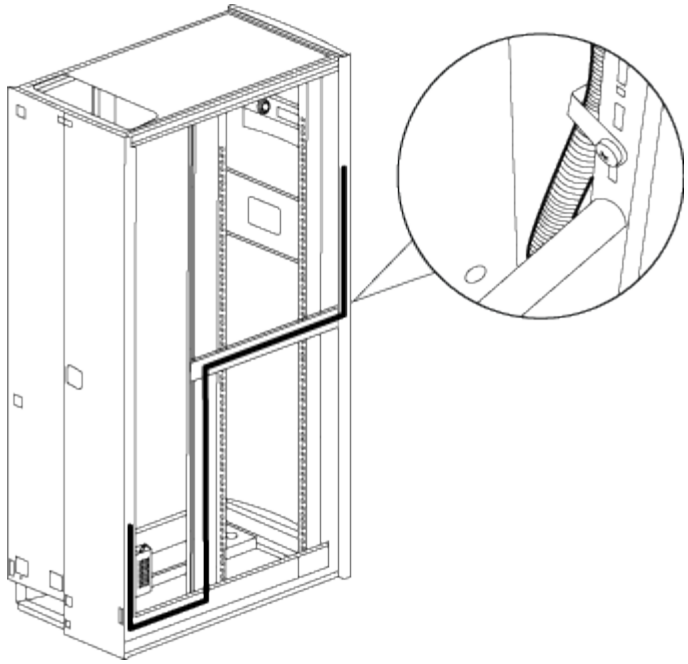
> 下部のケーブル固定ストラップがある場合は、取り外しが必要になることがあります。

b. 電源装置ケースの底部をシステムキャビネットフレームに固定します。

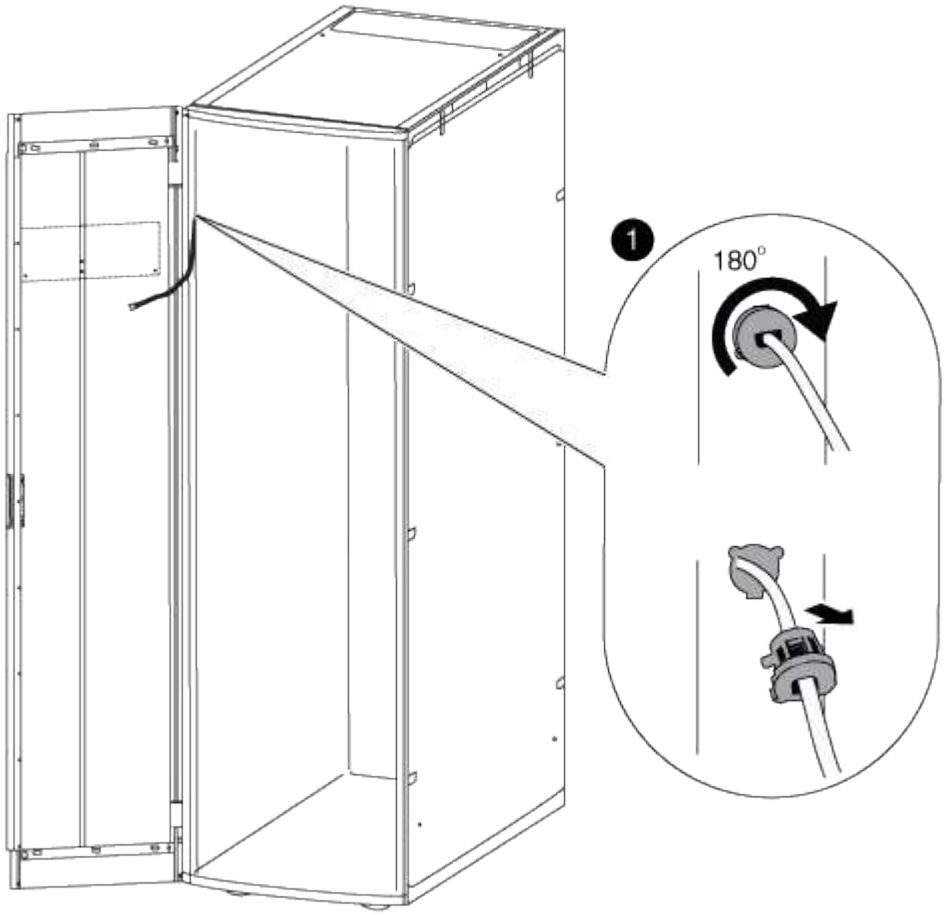
c. カバーフックを電源装置の背面に合わせ、プランジャをカバーの上に引き上げて回転させて閉じ、プランジャをリリースして電源装置カバーと電源装置を取り付けます。

4. 固定クリップからコンジット固定クリップを外して、ベゼルの電源装置のコンジットを取り外します。次に、コンジットを電源ケーブルからスライドさせて外します。

固定クリップとネジはコンジットをキャビネットの反対側に取り付けるために保管しておいてください。



5. バッジの電源ケーブルをキャビネットの反対側に移動します。



a. キャビネットのゴム製ケーブル固定クリップを右に 180 度回転させてシステムキャビネットフレームから外し、ケーブルをシステムキャビネットから慎重に引き出します。

b. ケーブルをキャビネットの反対側に移動し、キャビネット上部近くにある穴に最後まで通します。

c. ゴム製ケーブル固定クリップをフレームの穴に合わせ、できるだけ奥まで押し込み、左に 180 度回転させて固定します。

d. キャビネットフレームに沿ってキャビネットの背面までケーブルを配線します。

6. ケーブルコンジットを取り付け直します。

a. PDU 電源ケーブルの上にコンジットをスライドさせ、システムキャビネットフレームに沿って PDU までコンジットを配線します。

b. キャビネットの反対側からコンジット固定クリップをコンジットの上に取り付けて、キャビネットフレームに固定します。

7. バッジケーブルを電源装置に再接続します。ただし電源装置は電源に再接続しないでください。

ドアヒンジとロックキャッチを反転する

システムキャビネットのドアを反転する場合は、システムキャビネットのドアヒンジとロックキャッチをシステムキャビネット前面の反対側に移動する必要があります。

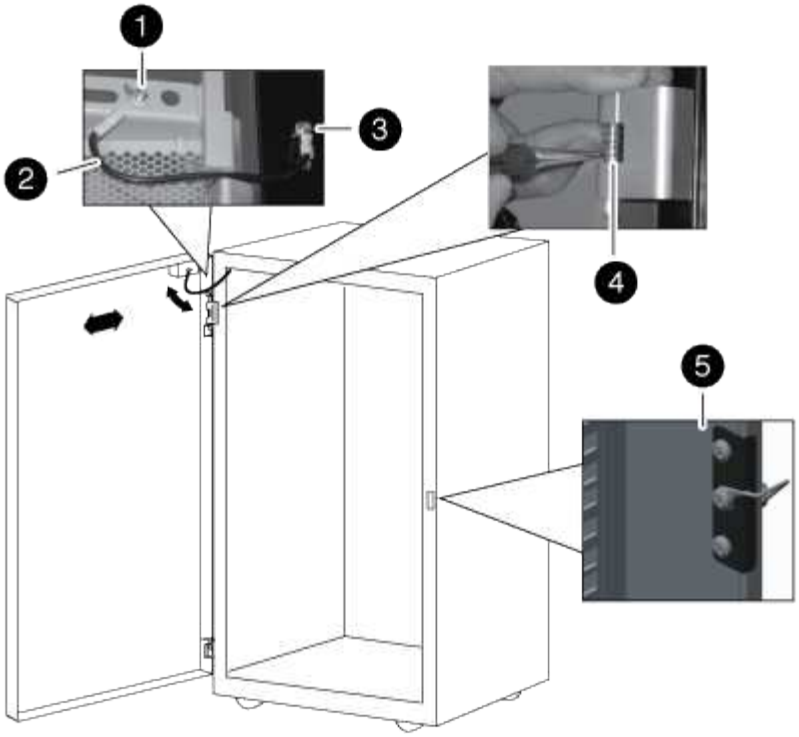
次の工具が必要です。

- プラスドライバ
- 5 mm アレンレンチ；マグネットアレンレンチが推奨されています
- ラジオペンチ
- 上部ヒンジの六角ネジに簡単にアクセスできるように、はしごをステップします

a. システムキャビネットフレームから上部のヒンジを固定しているネジを外し、ネジとヒンジを脇に置きます。

> キャビネットフレーム内に落とさないように注意して六角ネジを取り外してください。スペアの六角ネジは、システムキャビネットに付属のスペアキットに含まれています。

b. システムキャビネットフレームから下部のヒンジを固定しているネジを外し、ネジとヒンジを脇に置きます。



1
ドアの接地ネジと接地線スペード
2
アース線
3
フレームの接地線端子
4
上部前面のドアヒンジと、固定クリップで固定されたヒンジピン
5
ロックキャッチ

a. 上部ヒンジのヒンジピンを反転します。

   i. ヒンジピンを持ち上げ、ヒンジピンシャフトの固定クリップが見えるようにします。

ii. ラジオペンチを使用して固定クリップをヒンジピンシャフトから慎重に取り外し、脇に置きます。

iii. ヒンジピンとスプリングをスライドさせてヒンジ本体から外します。

iv. ネジ穴がヒンジの反対側に向くようにヒンジを回転させ、ヒンジピンとスプリングを元に戻します。

v. ヒンジピンにヒンジ固定クリップを取り付けます。

固定クリップをヒンジピンに完全に押し込んでください。

b. ヒンジを取り付け直します。

i. 上部の六角ネジを上部のヒンジの上部ネジ穴に合わせてシステムキャビネットに差し込み、六角ネジを途中まで締めます。

2 つ目の六角ネジを取り付けるまで、ネジを完全には締めないでください。

ii. 下部の六角ネジを上部のヒンジの下部ネジ穴に合わせてシステムキャビネットに差し込み、六角ネジを途中まで締めます。

iii. 上部と下部の六角ネジを締めます。

iv. 下部のヒンジに対して上記の手順を繰り返します。

c. ロックキャッチからネジを外し、ロックキャッチをシステムキャビネット前面の反対側に移動します。

d. キャッチを 180 度回転させ、システムキャビネットに固定します。

ドアと照光バッジを再度取り付けます

電源装置とコンポーネントをシステムキャビネットの反対側に移動し、ヒンジとロックキャッチを移動したら、システムキャビネットのドアと照光バッジを取り付け直し、バッジを電源に再接続する必要があります。

システムキャビネットのドアを再度取り付けます

ドアのヒンジとキャッチを反転したら、照光バッジを取り付け直す前に、接地線と接地端子アセンブリ、およびシステムキャビネットの前面ドアを取り付ける必要があります。

1. ドアを 180 度回転させます。
2. ドアの底部を下部のヒンジポストに合わせ、その上に配置します。
3. 上部のヒンジピンを持ち上げて、ヒンジの軸筒から外します。
4. ヒンジピンとドアのヒンジが揃うようにドアの上部をヒンジの軸筒の上に合わせたら、ヒンジピンを離します。

   ヒンジピンがドアヒンジと軸筒の下部を通ってしっかりと収まっていることを確認します。

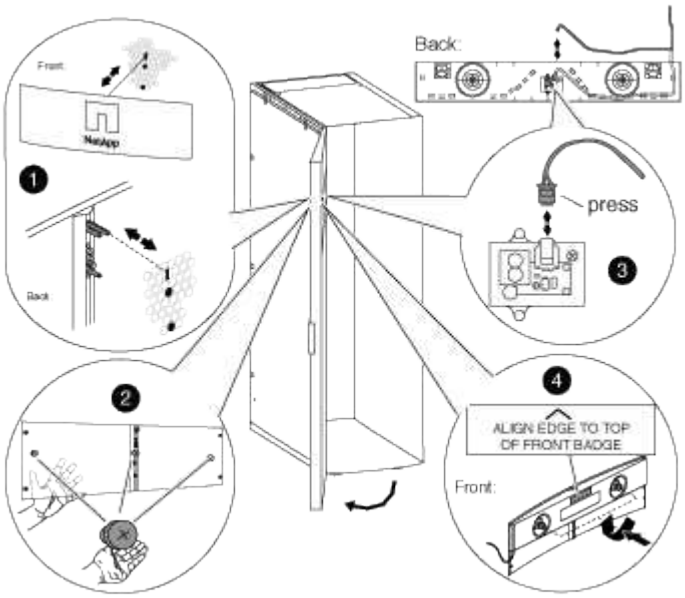
5. 反転させた前面ドアの同じ側のシステムキャビネットフレームに接地端子と接地線アセンブリを取り付け直し、システムキャビネットのドアの上部にスペードプラグと一緒にアース端子を再び取り付けます。
6. システムキャビネットのドアにある接地端子アセンブリのスペードにアース線を取り付け直します。

7. 必要に応じて、サイドパネルまたはインターコネクトブラケットを再度取り付けます。
    - システムキャビネットが別のシステムキャビネットに接続されていない場合は、サイドパネルを再び取り付けます。
    - システムキャビネットがインターコネクトキットで別のシステムキャビネットに接続されている場合は、インターコネクトブラケットを再度取り付けます。

照光バッジを再度取り付けます

システムキャビネットのドアを取り付けたら、照光バッジを取り付けてドアの反転手順を完了し、前面ドアを閉じてロックする必要があります。

1. 次の図を参考にして、システムキャビネットの前面ドアに照光バッジを取り付けます。



2. フロントドアを閉じてロックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。